

Moving Rack～入庫も出庫もラクラク駐輪

固定式前輪ラックの問題点を解決!!

>>>>>目次<<<<<<

- 自立スタンドの使い方をご存知ですか？
- 前輪ラックの現状
- Moving Rack 誕生！
- VIDEO：：：promotion
- 小さな拘り
- 恩恵を受けるのは利用者だけではない。



自立スタンドの使い方をご存知ですか？

電動子乗せ自転車にはスタンダードに装備されている、安定感抜群の両立スタンドは、自転車メーカー各社によると「スタンドを地面に押し当てながら車体をバック」させる安全で楽なスタンド方法を推奨しています。

※電動子乗せ自転車に限らずL字型両立スタンド採用モデル共通とのことです。

L字型両立スタンド



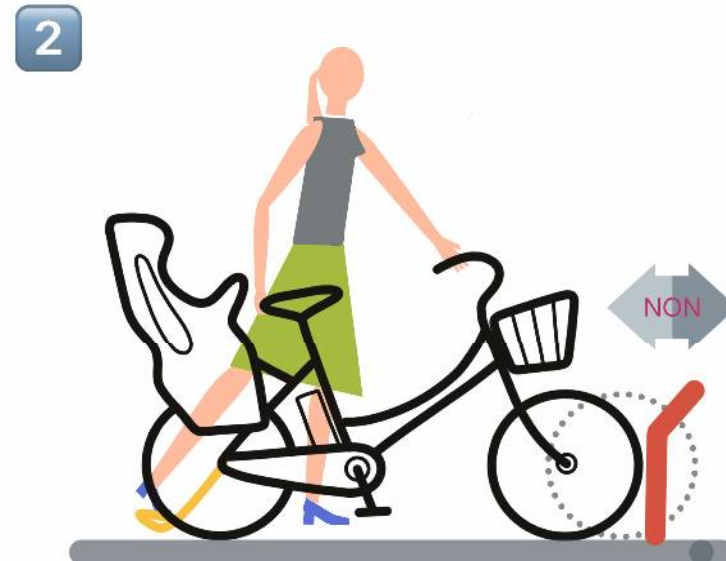
前輪ラックの現状

大きく分類して2つのタイプが存在します。1つは前輪をすっぽり嵌め込むタイプもう一つは前輪を差し込むだけの支柱型です。どちらも、スタンドとラックを併用するのに持ち上げスタイルお取れば特に問題は発生しませんが、自転車メーカーが推奨するバック方式を取ろうとすると、、、

①の場合では、タイヤがスッポリ収まっているのでそもそもバックできません。

②の場合だと、差し込んだあとバックすることで支柱から抜けてしまい役目を果たさなくなってしまう。

要するに、長年に渡り前輪ラックは、利用者に自転車を持ち上げて利用するよう要求してきたことに成るのです。



Moving Rack 誕生！

前輪ラックの状態化したルールによって、子育て世代のママや高齢者に対して与えてきた潜在的ストレスを軽減できる駐輪ラックを開発しました。

in

① 前へ押しながら前輪をセットする



② もどしながらスタンドを立てる



out

③ 押しながらスタンドを外す



④ そのまま後ろへ出る



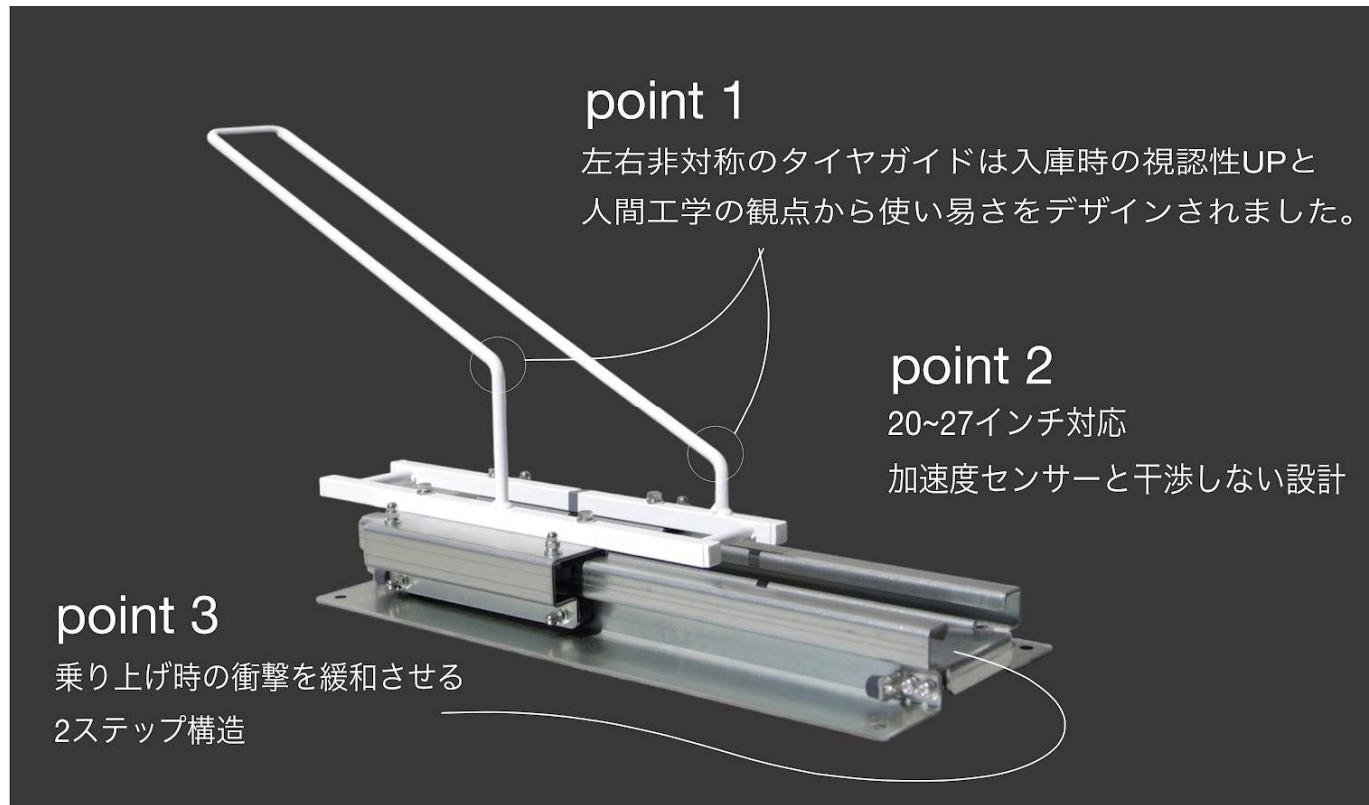
Promotion VIDEO

QRコードを読み取ると動画がご覧いただけます。



小さな拘り

細かな所では、入庫時において自転車（押し歩き）が左に傾く性質に順応するためと、タイヤ挿入時の視認性を良くするためにタイヤガイドの形状を敢えて非対称なデザインにしています。整列と転倒防止といった前輪ラックの基本的な役割を保持しながら使い勝手を併せ持つ前輪ラックに仕上げました。



恩恵を受けるのは利用者だけではない。

Moving Rackを駐輪場に導入することで恩恵を受けるのは利用者だけでは無いと考えます。子育て世代や高齢者に対する支援や福祉の観点に目を向ければ、安全・思いやり対策の一つとして実は自治体やデベロッパー様にも魅力的なツールな筈です。

電動子乗せ自転車や電動サイクルはスポーツバイクと違って子供の送り迎え・お買い物・通勤通学と毎日乗る自転車です。しかも子育て世代の4件に1台所有しているデータも出ており、まさに自動車に変わるモビリティとして活躍していると言えます。

SDGS・CO2削減の取り組みとして自転車利活用を推進する傍ら走行空間だけが先行してトメル側が追いついていない状況のなか 『**Moving Rack**』が、近い将来、安心・安全で快適な次世代型駐輪場建設のトリガーとなるよう活動していきたいと思っております。



有限会社モドルキカク

553-0005大阪市福島区野田1-1-86関連棟3f-63

TEL. 06-6469-7139 MAIL. info@modoru.jp WEB. <http://modoru.jp/>